

環境人材育成のための大学教育プログラム開発・実証委員会開発・実証委員会  
全体委員会 議事録

- 日 時 平成 22 年 9 月 14 日（火） 10:05～10:25
- 場 所 大阪府立大学 A1 棟 3 階 大会議室（西）
- 出席者 府立大学：奥野・安保・正木・寺迫・菅野・辻田・辻川・小崎・山口  
関係行政機関等：荒木・吉田（敏）・古川・真瀬・頓宮・中村・木村  
プログラム開発・実証コア教員：大塚・津戸・北宅・杉山・横山・竹中  
対外機関とのコーディネーター：前田・板東・山崎・小林・水谷  
事務局：竹本・北田・川路・増垣（記） （敬称略）

■議事次第

1. 開会挨拶
2. 新委員の紹介
3. 講義科目の進捗状況及び演習科目の計画案
  - (1) 講義科目の概要
  - (2) 演習科目の計画（案）
4. その他



■配布資料

- 資料 1：開発・実証委員会設置要綱  
資料 2：講義科目の概要  
資料 3：演習科目の計画（案）



■議事概要

○奥野（理事長・学長）が議長役となり開会。

- ・環境人材育成のプログラムは、他大学では見られない、全学が信じられない、という高い評価を受けている。

○（事務局）新委員の紹介

- ・今回、大阪ガス（株）に委員をお願いした。来年度の演習科目を担当して頂く予定である。

○（大塚・工学研究科教授/エコサイエンス研究所長）教育プログラムの現状と来年度に向けた準備状況を説明。

- ・前期の学部・大学院の 2 科目の受講状況、後期 3 科目の履修生エントリー状況とテレビ授業の準備態勢を整えている旨を説明。
- ・事前及び事後のアンケート結果から学生の動向説明。事後アンケート結果から演習科目に履修意向を示しているのは学部の「環境活動演習」で 28 名、大学院の「国際環境活動演習」で 6 名程度である。
- ・来年度の演習計画について、学部の「環境活動演習」の教員は 4～5 名で担当し、学外からは、堺エコロジー大学の運営会議メンバーでもある大阪ガス、堺自然ふれあいの森の指定管理者（OSS・EPR グループ）に依頼し、連携を図る予定である。学内は、平井（生命環境科学研究科）、大塚を予定している。

・大学院の「国際環境活動演習」については、北宅、竹中、大塚が担当教員となる予定である。現在進行中の JICA 草の根技術協力事業と密接に連携させ、国際シンポジウムの企画も考えている。

○（横山・工学研究科教授）受講生数訂正 14 名（誤）⇒15 名（正）

○（奥野）JICA から委託を受けた草の根技術協力事業では、住民とうまくコラボレーションが進み、順調である。このような教育プログラムは、1 年目からはうまく進まないのが普通であるが、順調に進んでいると聞いている。9 月初めにベトナム・ハロン湾を訪問した。現地の環境取組みの理解も進んでいる。現地で、草の根技術協力事業を是非とも成功させてほしい、というエールも受けた。

○（奥野）本委員会としては、教育プログラムの現状及び次年度の計画案を了承するが、引き続き、小委員会で意見交換、情報交換を図り、議論を深めてほしい。また、後期の授業が終了した時点で、初年度のプログラムの進捗状況について報告をお願いします。

以 上



平成 22 年 9 月 14 日  
全体委員会の様子

